

喜多方の清水 現状説明



実際にわき水を巡ったワークショップ

喜多方の清水の復活を目指す「きたかた清水の再生によるまちづくり」事業の中間報告会と講演会は二十七日午後一時半から喜多方市の喜多方プラザで開かれる。

27日、中間報告会

市民活動テーマに講演も

喜多方プラザ

県が研究テーマを応募か、わき水跡六十六カ所んが「福井県大野市のとして実施する超学際的美のあることが分かった。地下水問題と市民活動」実践課題研究事業。またか 実際にはわき水を巡るワーと題して講演し、意見をた清水再生プロジェクトワークショップや先進地視察 交す。

実行委員会が中心とな をしている。 入場無料。問い合わせは、県や地下水に詳しい 研究成果を広く市民には超学際的研究機構 電話024(5335)95 福島大共生システム理工 知ってもらおうと報告会 電話024(5335)95 学類の柴崎直明教授らが と講演会を企画した。柴 20か、県首都機能移転 協力して調査など進めて 崎教授がわき水が枯れた ・超学際グループ 電話 きた。市内で六十八カ所 原因や市内のわき水の特 024(521)712 のわき水を確認したほ 徴を詳しく説明し、現状 9へ。

と復活へ向けた課題などを話す。参加者からの意見も募る。

地下水の保全や水を生かしたまちづくりを進めている福井県大野市の実践例を学ぶ講演会も開く。大野市の活動を支援してきた金井雄雄さ